



ひぐらし Higurashi

学校法人国際共立学園 学園報

Vol.5

2023.03

CONTENTS

- 02-03 | インタビュー特集シリーズ
『世代を超えて』
- 04-05 | 特集・美翔祭『トータルヘアショー2022』
- 06-07 | 特集・美翔祭『学園祭2022』
- 08-09 | KOKUSAI NEWS
後援会だより
- 10-11 | 育友会だより/校友会(KBF)だより
インフォメーション

「日本とフランスの美容業の違いと言葉の壁。」

- 工藤校長** 朝の仕事前の時間からインタビューにご協力いただきありがとうございます(日本は夕方)。早速ですが、富島さんがフランスに行くきっかけになったのは？
- 富島さん** KOKUSAIを卒業して、最初は日本の美容室に就職しました。実は最初から海外で働こうとは考えてはおらず、当時日本で出会ったフランス人のボーイフレンドについて行ってフランスに来たというのがきっかけです(笑)。まずフランス語を学ぶために語学学校へ通い、その後美容学校で資格を取得して働き始めました。
- 工藤校長** フランスで仕事をするためには、やはり免許とか資格が必須なのですか？
- 富島さん** そうですね。でも、働く場所にもよると思います。日本で働いていた時はアシスタントだったので、カットができなかったというのがありますが、パリなんかのサロンだと、経営者がマネジメントのディプロマを持っていたら、資格がない人でも雇ってもらえることがあるので、フランスでしっかり資格を取って働くという日本人は意外と少ないかなと思います。
- 工藤校長** ではフランス人がフランスで美容の仕事をする際のスタンダードなパターンっていうのはどういう流れになるんですか？
- 富島さん** スタンダードなパターンとしては、フランスは中学校を卒業して専門学校に入るって感じですね。日本の場合は高校卒業後がスタンダードですが、フランスは中学校を卒業して、専門学校に2年通って資格を取るって感じです。資格についてはできることに応じて段階があります。
- 工藤校長** それぞれの資格によってどのような違いがあるのですか？
- 富島さん** 所持している資格によって、お店を持つことができるとか、パーマ・カラーができるとかが決まります。ただお店にその資格を所持している人がいれば、そのサロンでは資格を持っていない人でも技術を提供することができます。
- 工藤校長** 日本の『管理美容師』と似ているかな？
- 富島さん** それに近いかもしれません。さらに上位の資格になると、経営やマネジメントも学べるようになります。
- 工藤校長** 資格の取得は大変でしたか？
- 富島さん** 私の場合、日本での高校卒業の資格が認められなくて、フランスの国語と数学と社会、あとスポーツもテストで受けなきゃいけなかったです(笑)。それに加えて、美容の理論と実技。けっこう大変でした。
- 工藤校長** 美容技術のテストはどういうことをやるんですか？



- 工藤校長** 日本では資格によって給料が変わるとかはないですよね。そんな富島さんが今は美容師ではなくエステサロンで働いているとのことなんですが、きっかけは何だったんですか？
- 富島さん** 実はカットが好きになれなくて…。ちょうどそんなタイミングで夫がパリに転勤することになり、当然夫についていくから職場は辞めなくちゃいけない。夫の都合で妻が仕事を辞めることになったということで、夫の会社からの保証でお金をもらえるっていう期間があったんです。それが1年くらいあったんですが、もともとエステにも興味があったので、しっかり1年間エステの資格が取れる学校に行きました。
- 工藤校長** それはいい会社の制度でしたね。現在働いているエステサロンがどんなサロンか紹介してもらっていいですか？
- 富島さん** ここは「エヴィデンスドゥボーテ」というサロンで、実は日本の有名なアナウンサーの「中村江里子さん」の夫が社長をしているサロンです。社長が、敏感肌でなかなか合う化粧品がなくて悩んでいた奥様のために、敏感肌とアンチエイジングに特化した化粧品を開発したみたいなのですが、その化粧品は日本の方が研究している「トリプルコラーゲン」というものがあるんですけど、それとフランスの湧き水と高級香水を組み合わせで作っているというので、日本の技術とフランスの材料の融合という感じのものになっています。会社もサロンもすごく日本をリスペクトしています。化粧品自体はもう15年くらいになりますが、エステサロンは3年前くらいにできました。
- 工藤校長** 現在サロンではエステティシャンとして働いているということになるんですか？
- 富島さん** そうですね。でもここでは日本のような全身施術をするのではなく、どちらかというその化粧品の選び方や使い方だったりをコンサルティングするのが中心です。日本流の接客は現地の方にも喜ばれます。「おもてなし」の接客がフランス人とは違うので(笑)。
- 工藤校長** ここ3年くらいはコロナで大変だったと思います。フランスではどんな感じでしたか？
- 富島さん** ロックダウンで一步も外に出られなくなって、買い物や外に出る時は申請書みたいなのをもらわなきゃいけなかったり…。接客業系のお店は全部閉めろっていう国からの指示が出ていたんで、それが4か月ぐらい続きました。やっぱり経営者は大変だったと思います。企業に対する保証だと、例えばコロナ期間だけ仮で解雇して、その解雇された人は国からお金がもらえたり、あとは支払う給料の半分を国が出してくれたりというものがあったみたいです。個人でやっている事業者も、コロナによって下がってしまった分の差額をもらえるというような保証もあったというのは聞いたことがあります。
- 工藤校長** その辺は各国同じような保証をされていて、フランスだけ特別っていうわけではなさそうですね。富島さんはフランスに渡ってもう12年になるとのことですが、日本に戻る予定は？
- 富島さん** とりあえずあと8年ビザが残ってるので、残り8年のうちにその時のパートナーがどの国の人なのかによって、まだどこか違う国になるかもしれないけど(笑)。とりあえずはフランスにずっといいかなって感じですね。もう日本で働くのは無理なのかなと思うので(笑)。私の日本の働き方の印象は、とにかく仕事っていう感じでプライベートは二の次みたいな印象があって、仕事のために生きるみたいな。フランスはプライベートもすごく大事にするので、1年の中で3、4週間はバカンスを取りたいよねっていうメンタルなので…。悪くいうと甘いのかなと思いますけど。ちなみにフランスの週の労働時間は35時間です。それを超えると日本で言う残業手当のような扱いになります。

写真:ZOOMにてインタビューの様子

Special Interviews 世代を超えて～先生×元学生～ Across the generations

世代を超えてKOKUSAIで学んでいる方にインタビューするシリーズ企画。
第四回は特別企画として、現在フランスで活躍中の卒業生と、当時担任だった工藤校長との対談をお届けします。
日本とは違った文化や働き方、海外で働くために大切なことなどをお話いただきました。

- 富島さん** 実技は、モデルを使ってパーマカットでヘアチェンジをしていくみたいな感じでした。それとメンズカットとレディースカットをそれぞれやらなくちゃいけなくて。課題については事前に決めることができたので、「このスタイルにしてください」という指定はなかったです。モデルさんを連れてきてカットするのですが、「何センチ以上切る」という条件はあります。その上の資格になるとスタイリングチェンジをしなきゃいけないみたいな感じですね。
- 工藤校長** 日本の国家試験とは全く違う、実践的な試験方法ですね。
- 富島さん** そうですね。全然違います。「落としました。消毒しました。」みたいなのはないです(笑)
- 工藤校長** ちゃんと覚えてくれて、ありがとうございます(笑) 実際のところ、日本の美容の国家資格は、フランスで何かに活かせるとかはまったくないですか？
- 富島さん** 資格をもっているかどうかよりも、技術ができるかどうかの方が重要ですよ。技術ができればフランスの資格がなくても雇ってくれるサロンはあります。日本では資格がないと仕事ができないうし、技術も身に付かないと思うので、そういう意味では日本の国家資格は必須なのかなと思います。
- 工藤校長** フランスでは資格の有無に関わらず、管理者が資格を所持していればその責任において技術をさせることができるんですね。
- 富島さん** ただフランス人で美容の仕事をする人は大体何かしらの資格を持っていますけどね。それと日本人を含めた外国人がフランスで働くには、フランス語能力をかなり求められるので、そこが大変だと思います。
- 工藤校長** 言葉はやはり大変ですか？
- 富島さん** 言葉に関しては日常会話ができるだけでは困ることも多いかも。日本に比べてフランスは思い通りに行くことが少なく、何事も普通に進んでいくってことがなくて、いつも何か問題があって、問い合わせしたりとか問題解決しなくていけないので、そういう事に自分で対応していけるぐらいのフランス語の力が必要です。フランス人くらい完璧になるにはあと10年以上かかるかも(笑)。
- 工藤校長** 日本と文化などいろいろ違いもあると思うんですけど、美容の仕事の中での違いみたいなものはありますか？
- 富島さん** お客様への対応の違いですかね。日本だとクレームになってしまうようなことを当たり前にしていうか。例えばシャンプーの時に、耳にドバドバ水が入ってくるみたいな(笑)。雑というか日本よりかはだいぶ大胆な感じですね(笑)。あとはアシスタントがいるサロンがあまり多くはないです。美容学校を卒業したらもうすぐに「できるよね？」っていう感じで、メンズカットからいきなりやらされていくっていう感じです。実践で経験するというか。
- 工藤校長** それはいいことだよな。日本みたいにアシスタントを5年6年やって、やっとスタイリストになりましたっていうよりは、もう実践でがんがんやっちゃえていう感じですよな。
- 富島さん** うん、そうですね。それとフランスは働きながら資格を取れるシステムがすごく整っていて、それがすごくいいところだなと思いました。日本にもあるとは思うのですが、フランスの方が整備されていると感じました。それと持っている資格によって、給料の水準が変わってきます。そういう意味ではフランスはディプロマ社会といえます。



【取材協力】
Evidens de Beauté(フランス)
<https://evidensdebeaute.com/>



2008年美容科卒
Evidens de Beauté/エステティシャン

富島 初美さん

【取得資格】
日本 美容師免許(学校名:学校法人国際共立学園 国際理容美容専門学校)
フランス語 A1/A2/B1(学校名:AVIGNON UNIVERSITE CUEFA)
フランス 美容師免許 CAP(学校名:AMAE FORMATION)
フランス 美容師免許 BP(学校名:CFA AVIGNON)
フランス エステティック免許 CAP(学校名:CATHERINE SERTIN)
インターナショナルライセンス・エステティック CIDESCO(学校名:CATHERINE SERTIN)

「海外で働くなら、 自分らしさをしっかり持つことが大事です。」

- 工藤校長** たしかにまだまだ日本の、特に美容業界の労働環境は改善の余地がありますね。ちなみにフランスでは、美容師とかエステティシャンの社会的な地位というのはどうなんですか？
- 富島さん** 学生時代にロンドンへ研修に行った時に、現地の美容師さんが皆さんすごい誇りを持っていたし、周りからもすごいリスペクトされてる感じがあって驚いたことを覚えています。でもフランスはそんな感じではないですし、社会的地位はあまり高くないのになって感じはします。もちろん有名な方とかは凄く思われてますけど、職業としてはそんな高いとかは思われてない気がします。
- 工藤校長** そうなんですね。なかなか聞けないような話がたくさん聞けました。最後に、フランス含め海外で仕事をしたいと考えている在校生や卒業生に対して、何かメッセージやアドバイスみたいなことを聞かせてもらえますか？
- 富島さん** フランスだったらバカンスがいっぱいあるのと(笑)、プロフェッショナルな人生と、個人的な人生を両方楽しむことができるので、充実した生活が送れるかなって思います。ちょっとネガティブなことを言うと、ヨーロッパ含め海外ってかなり個人主義的なところがあるので、日本人から見たらちょっとわがままかなとか、自分のことしか考えてないのかなとか思ったりするんですけど、それはみんな自分を大切に、自分らしくいることを大切にしているって文化によるものだと思います。だから海外で働きたいのなら、『自分』というものをしっかり持ってたほうがいいのかと思いますね。私はもともと流されやすいタイプだったので、けっこう苦労したのですが、目標をしっかり持って、周りがどうかでなくて、「自分はこうしたい」という意志を持ったら、海外では過ごしやすくなって思います。
- 工藤校長** 日本とフランスで時差がある中、仕事前の貴重な時間にありがとうございます！これからも頑張ってください!! 日本に帰ってきた際は、ぜひ学校に立ち寄ってくださいね!

美翔祭 Total Hair Show 2022

令和4年11月6日(日)、7日(月)に美翔祭2022を開催しました。

今年度は学生生徒の保護者や業界関係者、一般のお客様を招き2日間の開催となりました。2日間にわたって一般公開をしたのは3年振りとなります。

今回のグランドテーマは「REVIVAL」。

今年度で67周年を迎えた本学園は、時に激しく変化する社会の中で、ブレずに、時には自らが変化の中心となる職業人を育成する教育を実践してまいりました。流行が目まぐるしく変化する業界において、古いものをただ古いからと言って

打ち捨てることなく、そのエッセンスを感じ取り、新たなインスピレーションを得ることで、新たな変化につなげられる感性こそが、業界で活躍するためには大切な要素となります。

この先人の言葉を改めて社会に問いかけるため、今年度の美翔祭のテーマを"REVIVAL"とし、各学科で表現いたしました。

理容科

【サブテーマ】
integrate



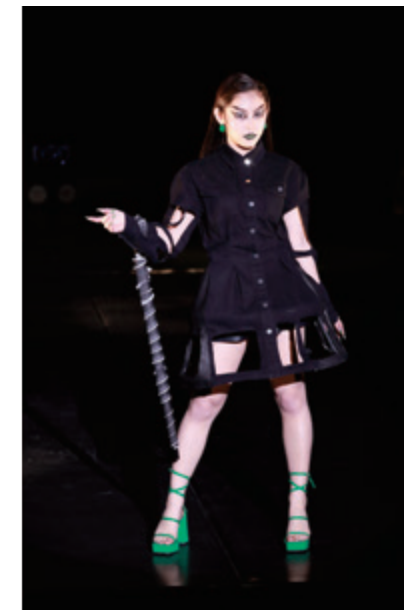
ビジネス美容科

【サブテーマ】
百花繚乱



ビューティアーティスト科

【サブテーマ】
rock is in our blood



美容科

【サブテーマ】
60's~80's
British Culture



高等専修美容師科

【サブテーマ】
Diversity
(多様性)



ヘアショーのダイジェスト版が、公式YouTubeチャンネルで公開されています。是非ご覧ください。



美翔祭
2022

国際理容美容専門学校 学園祭

製菓衛生師・調理師科

国際理容美容専門学校ではヘアショーと同様に3年ぶりに学園祭を開催いたしました。
感染症の影響も配慮し、飲食等の販売は実施せず、技術のみの提供となりました。
新館と本館の一部での縮小開催ではありましたが、保護者や地域の方など、二日間で多くの来場者を迎えることができ、盛況での開催ができたことに学生たちも充実感を味わえた様子でした。
学生による技術提供の他には新館8階にてイベントブースを開催。KBF(校友会)によるオリジナルシャンプー作り体験(本誌P10参照)や、姉妹校の国際共立高等専修学校『製菓衛生師調理師科』の制作した焼き菓子販売を実施し、小さなお子様やご年配の方にも楽しんでいただける学園祭となりました。



学園祭ブース一覧

〔理容科〕

- ドライヘッド・肩マッサージ体験
- ネックシェービング体験

〔美容科〕

- シャンプー・ヘアケア体験
- ワンポイントカラーアレンジ体験

〔ビジネス美容科〕

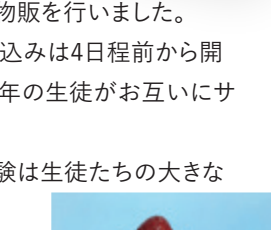
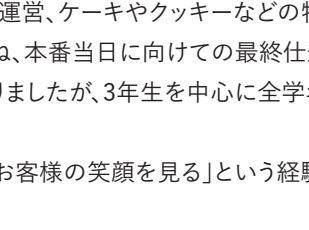
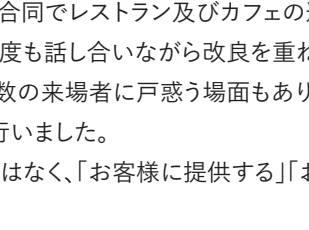
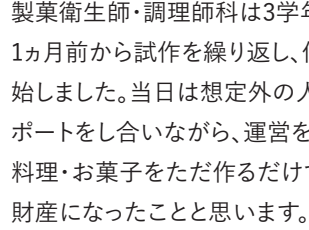
- ロミロミ・ホットストーンマッサージ体験

〔ビューティーアーティスト科〕

- ネイル体験
- ヘアセット体験

〔8Fイベントブース〕

- オリジナルシャンプー作り体験(KBF主催)
- 焼き菓子販売(製菓衛生師調理師科)
- フォトブース
- ゲームコーナー(景品あり)



製菓衛生師・調理師科は3学年合同でレストラン及びカフェの運営、ケーキやクッキーなどの物販を行いました。
1ヵ月前から試作を繰り返し、何度も話し合いながら改良を重ね、本番当日に向けての最終仕込みは4日程前から開始しました。当日は想定外の人数の来場者に戸惑う場面もありましたが、3年生を中心に全学年の生徒がお互いにサポートをしながら、運営を行いました。
料理・お菓子をただ作るだけではなく、「お客様に提供する」「お客様の笑顔を見る」という経験は生徒たちの大きな財産になったと思います。



2022年11月5日(土)・6日(日)の2日間、国際共立学園高等専修学校にて学園祭「美翔祭」が開催されました。土日開催で高等専修学校単独での学園祭は本年度が初めてとなりました。
コロナ禍ではありましたが、2日間で合計760名という多くの来場者の方が本校を訪れ、在校生の日頃の成果と楽しい雰囲気を感じていただくことができました。
次年度はさらに洗練された学園祭運営ができるよう教職員、生徒ともに努めていきたいと思います。

美容師科



美容師科では、今まで学んできた知識・技術・経験を駆使し、各ブースを盛り上げていました。1年生はヘアメイク・傷メイク体験、肩・ハンドマッサージ、ボディペイントをお客様に提供しました。保護者や外部の方に緊張しながらも練習の成果を発揮していました。
2年生はシャンプー＆ブローのブースを出展。1週間前に実務実習を行っていたこともあり、接客スキルを現場で学んできたことで、お客様への対応がとてもスムーズでした。きれいに仕上がったお客様をフォトブースで『パシャリ!』。ともに笑顔になれる瞬間でした。
なお、美容師科3年生は国際理容美容専門学校の2年生と共にヘアショーを作り上げました。



美翔祭 2022 国際共立学園高等専修学校 × 学園祭



美容科実務実習にて新たな取り組みを開始！(国際理容美容専門学校)

令和4年12月に美容科1年生を対象とした実務実習授業を実施しました。
厚生労働省による「理容師養成施設及び美容師養成施設の適正な運営の確保に関する検討会報告書」には、実務実習のあり方として「適切な指導監督の下、理容行為、美容行為及びその附随する作業を行うものである」との記載があります。これにより本校美容科では、実務実習先の後援会サロン様を対象に、新たな試みとして実務実習中の在校生による美容行為の実施を依頼をいたしました。具体的にはマッサージ及びシャンプー施術の実施です。今回は約半数以上のサロン様にご賛同いただき、取り組みを実施することができました。実施に至らなかったサロン様の理由としては、「学生の技術レベルや信頼度などお客様に携わるレベルに達していない」等のご指摘があり、まだまだ課題があるのも現実です。即戦力を目指し、業界により貢献できる人材育成を目指す本校では、今回の反省点を踏まえ、引き続き来年度の実務実習にて美容行為の依頼を行う予定です。

各種フォトコンテストで入賞多数！(国際理容美容専門学校)

ヘアメイクアップアーティストを目指せるビューティアーティスト科では、授業で身に付けた技術・知識を使い、フォト作品制作に力を入れてきました。各コンテストのテーマを自分なりに解釈しながら、モデル選び、ヘア、メイク、トータルコーディネートまで考え、モデルの個性を存分に発揮ができるようチャレンジしてきました。今年度は学年関係なく作品作りに没頭し、様々なフォトコンテストで優秀な成績を残すことができました。

【LUXE BEAUTY 12th HAIR & MAKEUP PHOTO CONTEST 2022】

入賞 神柱 小舞さん(ビューティアーティスト科2年)

【UNION Photo Contest 2022】

3位/UNION特別賞 山田 春香さん(ビューティアーティスト科1年)

6位 遠藤 怜奈さん(ビューティアーティスト科2年)

8位 神原 里奈さん(ビューティアーティスト科2年)

10位 金行 梨珠さん(ビューティアーティスト科2年)

12位 和久井 まりあさん(ビューティアーティスト科1年)

【2022 CHARACTER PHOTO CONTEST】

入賞 和久井 まりあさん(ビューティアーティスト科1年)

敢闘賞 片見 玖莉杏さん(ビューティアーティスト科1年)

敢闘賞 齋 萍萍さん(ビューティアーティスト科1年)



LUXE BEAUTY 12th HAIR & MAKEUP PHOTO CONTEST
入賞 神柱 小舞さん



2022 CHARACTER PHOTO CONTEST
入賞 和久井 まりあさん



2022 CHARACTER PHOTO CONTEST
敢闘賞 齋 萍萍さん



UNION Photo Contest 2022
3位/特別賞 山田 春香さん



UNION Photo Contest 2022
6位 遠藤 怜奈さん



UNION Photo Contest 2022
8位 神原 里奈さん



UNION Photo Contest 2022
10位 金行 梨珠さん



UNION Photo Contest 2022
12位 和久井 まりあさん



2022 CHARACTER PHOTO CONTEST
敢闘賞 片見 玖莉杏さん

クリスマスケーキ&料理の販売をしました！(国際共立学園高等専修学校)

製菓衛生師・調理師科では、美翔祭でのレストラン・カフェ運営、物販販売の経験を活かして、3年生を中心にクリスマス商品の販売企画を実施しました。過去2年間でクリスマス販売を行ってきた経験をもとに、製菓班と調理班に分かれ、実習の時間を使って各商品の原価計算やレシピ開発など、何度も試作し商品を決定的にしました。販売日の直前まで外部の方への販売をするのが協議しましたが、コロナの感染者が増えてきた時期だったこともあり、今年も学園在校生や講師の先生、学校職員への販売に留める事になりました。

商品のラインアップが決まり、1・2年生を各班に分けて事前に打ち合わせをし、3年生がリーダーシップをとって、クリスマス商品を2日間かけて仕上げていきました。販売前日に3年生に様子を伺ってみたところ、「後輩が気持ちよく作業できるための声掛けが難しいです」、「お客様からのオーダーがたくさん入って、正直大変だけど3年生が責任を持って仕上げたい」という声が聞けて、先輩としてこの取り組みを成功させたい想いや成長を感じ取ることができました。

引き渡し当日は予定通りに全ての商品が仕上がり、生徒達も達成感を味わって良い経験が出来たと思います。

購入した方の声を聞いてみると「クリスマスパーティーで料理がおいしくて盛り上がった」、「ケーキは去年も食べたけど、また来年も頼んでみたい」という声が聞かれ、在校生も大満足でした。

製菓衛生師・調理師科では後輩たちは先輩の姿を見て、来年はさらにより取り組みをして学外への販売にチャレンジしてくれることと思っています。



写真：調理中の様子



【販売実績数】

いちごのショートケーキ15cm 44台
いちごのショートケーキ15cm 64台
ブッシュドノエル 59台
ドゥブルフロマージュ 108台
ローストチキン2本セット 129セット
チキンコンフィ2本セット 156セット
ラザニア 129台
オードブル盛り合わせ 96個

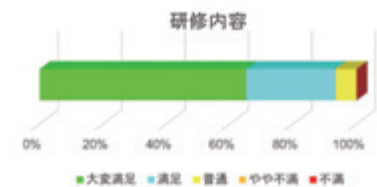
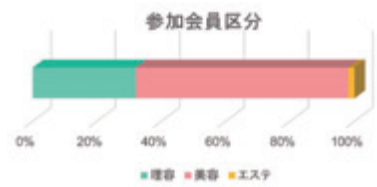


写真：実際に販売した商品



会員研修会を開催

を会員の質問に応じながら説明をしていきました。2部では、日本接客リーダー育成協会 代表理事の藤村純子氏を講師にお迎えし、「たった60分で印象を劇的にUPする3つの方法」というテーマでご講演をして頂きました。参加した会員には同講師著書を謹呈し、それをテキストとして、人から好かれるためにはどうすべきか良好な人間関係の作り方等を実践を通して学ぶことができました。



〈上：研修後アンケート結果〉

写真：研修の様子



一般社団法人日本接客リーダー育成協会 代表理事
ビジネスマナー研究所株式会社 代表取締役
藤村 純子



後援会だより



新春賀詞交歓会を開催

令和5年1月10日 ホテルニューオータニにおいて、学校法人国際共立学園後援会主催 新春賀詞交歓会が開催されました。3年振りの開催に多くのご来賓、各種商社、会員総勢200名を超える皆様にご参会頂きました。
本年は趣向を変え、ピアニストとバイオリニストの演奏によるオープニングスタートとなり、長谷川雅一後援会会長の挨拶に続き、和田美義理事長が、理容科の産学連携実践型プログラムの実施など同学園の近況を報告するとともに、一昨年就任した国際理容美容専門学校の工藤佑輝校長と国際共立学園高等専修学校の増田律子校長を改めて紹介、両校長が新年の抱負などを述べました。
辻清人衆議院議員らの来賓祝辞・紹介の後、理容師美容師試験研修センターの遠藤弘良理事長のご発声で乾杯し、ピアノとバイオリンの音色に耳を傾けながら、3年振りの交流ということもあり、窓から覗く日本庭園に負けないくらい、それぞれが話に花を咲かせていました。
最後にご参会の皆様に対して、国際共立学園高等専修学校製菓衛生師・調理師科による焼き菓子のアソートが手渡され、盛会のうちに終了いたしました。

国際理容美容専門学校 育友会だより

インフルエンザ予防接種費用助成

提携産業医によるインフルエンザ予防接種に対する助成を行いました。

予防接種費用
¥3,200



育友会補助
¥1,000

実質費用
¥2,200

【実績】
国際理容美容専門学校
59名

美翔祭費用助成 (※本誌P4～6参照)

昨年度はトータルヘアショーのみの観覧が可能でしたが、今年度は学園祭・トータルヘアショー両方が一般公開され、多くの保護者様や近隣住民の方にご来場いただきました。美翔祭開催にあたり費用の一部を育友会より助成しました。

国際共立学園高等専修学校 育友会だより

育友会発足及び役員会の開催

国際共立学園高等専修学校 育友会として2月18日(土)に初の会合が開かれ、今後の育友会の在り方について、様々な意見交換を行うことができました。
高等専修学校に通う生徒は、中学校卒業時にはすでに職業意識を持ち、自身の将来に向かって大きな夢や目標を抱いております。そんな生徒達が安心して学べる環境作りや充実した学校生活を送れるように、保護者(育友会)と学校が協力し合いながら、より良い教育環境を整えていきたいと考えております。
今年の6月に初となる育友会総会が開催されます。学校の現状説明や各担任との面談の機会もございます。是非、この機会に普段の授業の様子をご見学下さい。改めてお知らせいたしますが、多くの保護者様にご参加いただけますようお願い申し上げます。

写真:育友会会合の様子



校友会(KBF)だより

令和4年度美翔祭(学園祭)に「オリジナルシャンプー作り体験ブース」を出展しました

令和4年11月6日、7日に開催された美翔祭にて、KBF(校友会)として「香りが選べるオリジナルシャンプー作り体験」ブースを出展しました。当日は立花会長、石川役員がブースを担当いたしました。あらかじめベースの基剤は作成しておき、当日は簡単に混合し香り付けするだけで完成するオリジナルシャンプー。作業が簡単なこともあり、小さなお子様からご年配の方まで幅広い来場者の方にご参加いただき、シャンプーをお持ち帰りいただきました。
2日間で約100名のご参加をいただき、用意した約120個分の材料もほぼなくなるという盛況で幕を閉じました。
ご協力いただいた皆様、またご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

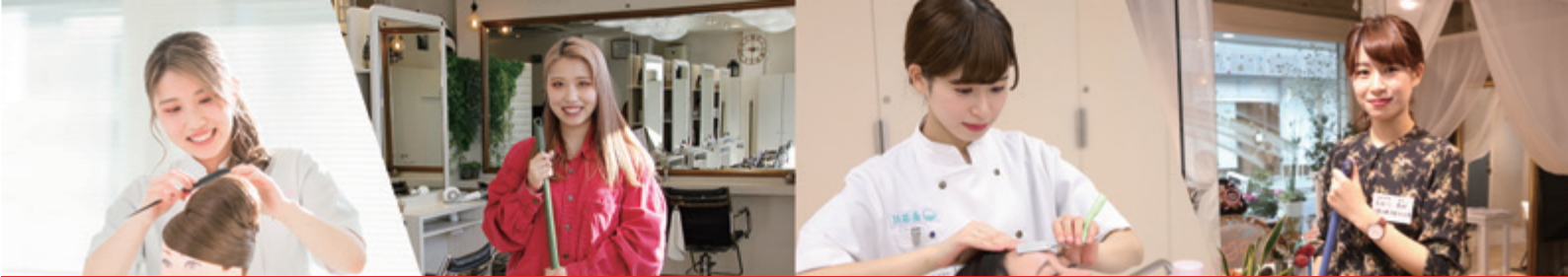
写真:当日の様子



KBF公式LINEを開設しました!
デジタル会報誌やセミナーのご案内などの情報を
発信しますのでぜひ友だち登録をお願いします。



独立開業お祝い制度については
こちらのQRコードより詳細をご覧ください。



美容科に続き、理容科でも『産学連携実践型コース』がスタートいたしました!
知人や親族にご興味のある方がおりましたらぜひご紹介ください!!

産学連携実践型
コースって??

奨学金を使わずに、理容師・美容師を目指す特別コース

Point.1

授業と現場のつながりを感じることができます。
また、アシスタント業務を早い段階からスタートするため、早期スタイリストデビューを目指します。

		理容科 美容科 入学	19歳	20歳	理容科 美容科 卒業	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳
普通	学校		1年生	2年生						
	サロン									
産学	学校		1年生	2年生		アカデミー				
	サロン	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目		
		アシスタント		アシスタント	スタイリストデビュー					

Point.2

奨学金を使わずに自分で働いたお金で学費を返せます



学費2,484,000円の返済例

入学後3年で
完全返済

奨学金を使用した場合

卒業後、月15,000円ずつの
返済の場合
約15年で完全返済。

産学連携実践型コースの場合

(在学中) (卒業後)
2年間+1年間で
得られる収入
約3,660,000円で完全返済。

※収入金額は東京都の最低賃金を基に計算しています。学費については、入学後支払う金額を掲載しています。

3年間の流れ

9:00~16:50までの授業

	月	火	水	木	金	土	日
1年目	休校	学校の授業			サロンワーク		
2年目		学校の授業			サロンワーク ※国家試験前は日数が減ります		

国家資格取得

3年目
(アカデミー)

サロンワーク週5日間+月に数回登校

3年目は美容科を卒業し、アカデミーに入校します。アカデミーとは学校法人国際共立学園が運営するスクールです。



学園の入学金免除制度を
ぜひご活用ください!

右記の条件を満たすと
入学金免除制度の対象となります。
ぜひご活用ください!

免除制度	同窓会(KBF)会員血縁者	後援会会員紹介者
対象学科	通信課程を除く全学科	通信課程を除く全学科
条件	卒業生の三親等以内の血縁者 及び卒業生の配偶者	本学園後援会会員の紹介者
免除額	10万円(全額)	5万円(1/2)

※ 詳細は学園事務局までお問い合わせください。TEL03-3803-6696

KOKUSAI川柳 応募作品発表

前号で募集告知いたしました、理美容業または理美容学校生活の風刺を詠む「KOKUSAI川柳」。
ご応募のあった多数の作品の中から編集部が厳選したものを掲載いたします(公開名はペンネームです)。

-  **金賞** ごめんなさい 満員電車の 黒バッグ (みゆるさん/在校生)
-  **銀賞** お手本は 簡単そうに 見えるのに (ゆさん/在校生)
-  **銅賞** マスク越し 会話聞こえず 空返事 (猫のふわふわしっぽさん/後援会関係者)
-  **佳作** 豚指導 国際の魅力 役に立つ (nonkさん/在校生)

次号でも作品を発表する予定です。

引き続き「KOKUSAI川柳」は募集中ですので、右記のQRコードより奮ってご応募ください。



国 際
理美容
専門学校
公式HP



国際共立
学園高等
専修学校
公式HP



国 際
理美容
専門学校
Instagram



国際共立
学園高等
専修学校
Instagram



国際共立学園
校友会KBF
公式HP



国際共立学園
校友会KBF
公式LINE



学校法人国際共立学園 学園報 ひぐらし

発行所:学校法人 国際共立学園

発行責任者:和田 美義

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-17-12

TEL : 03-3803-6696(代表)

協賛:国際共立学園後援会・育友会・校友会(KBF)

編集担当:KBFひぐらし編集部

学園報ひぐらしに対するご意見・感想などは
上記QRコードの「ご意見受付フォーム」よりお願い致します。